



略歴

沖縄県那覇市生まれ
四條畷市会議員四期・市議会副議長
議員団長など歴任。
四條畷市長候補(〇六年)。
現在、党十二区国政対策委員長。

衆院十二区予定候補に しげた初江さん

- 12月市議会**
一般質問の傍聴におこし下さい
- | | |
|--------|------------|
| 17日(月) | 田中 久子(2番目) |
| 17日(月) | 太田 徹(6番目) |
| 17日(月) | 中谷 光夫(7番目) |
| 19日(水) | 寺本とも子(2番目) |
| 19日(水) | 松尾 信次(3番目) |

質問は午前10時(1番目)からはじめります。尚、質問内容につきましてはホームページ(活動報告)に掲載しています。

「解同」が要求する人権条例 部落問題を特別扱いに

行政は人のところに介入すべきでない

人権尊重のまちづくり
条例が、十二月市議会に提出されました。
大阪府下で寝屋川市のみ未制定で、「部落解放同盟」大阪府連が大会方針で、寝屋川市を名ざして、制定をもとめている中でのことです。

条例では、「部落差別を始め、人種、信条・その他の人権侵害が存在する」とし、部落問題を優先課題とする姿勢を示しています。

人権を意識の問題に歪小化

条例は、人権問題を差別問題に、とりわけ市民の意識の問題に歪小化しています。
人権意識が高いとか低いとか、行政に判断する権限はありません。

部落問題が解決に向けて大きく変化している中、特別扱いの根拠をつくるべきではあります。今

行政がおこなうことは問題解決のための条件整備であり、人のところの問題に介入すべきではありません。

十二月議会では、市民福祉効果額の一部を積み立て、市民福祉の向上のための新規・拡充事業等の財源の全部又は一部を充当するため取り崩すとされています▼「行革」で浮いた財源を市民福祉にまわす、最もなことのようになりますが、最近の事例では、乳幼児医療費制度を拡充する財源として、保育所民営化で浮いた財源をまわす、という市の言い分を思起こします▼「行財政改革」の名での住民負担増に市民の強い批判がある中、それをかわす言い訳と感じざるをえません▼市民福祉の向上のために、基金を新たにつくる必要はとくにありません。ムダや非効率を見直し、住民サービスを低下させない。これは基金をつくらなくても可能で、大型開発優先の予算の使い方をあらためること、行財政改革は市民参加で徹底した議論をおこない、みんなが納得できるものにするこそ必要です。

寝屋川民報
議会版

発行 日本共産党
寝屋川市会議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email : jcpc@cc-net.or.jp
No. 2097

太田 とおる
高柳2丁目49-2
826-1664

田中 ひさ子
田松町10-36
823-1714

寺本 とも子
豊里町38-1-105
829-9424

中林 かずえ
宝町4-33
839-2289

中谷 光夫
高宮2-19-5
823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
821-7427